

# DG-5とタッグを組んで坂東商会シーラゾーン復活! スーパーGT監督、坂東マサが演出する最新の乗り味 タイヤを活かす「マサ仕立て」

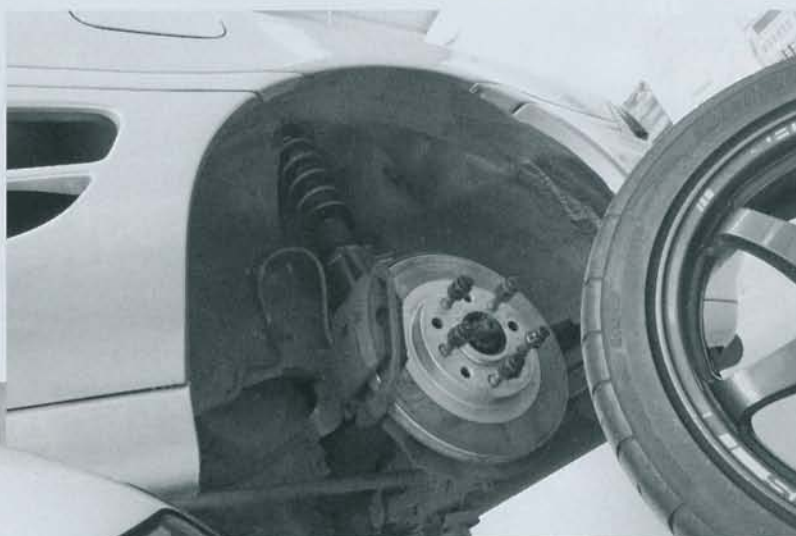
シーラゾーンという名前を知っている人はけっこう古い人。これ、いまや超有名のオリドが坂東商会で働いていたころ、初代坂東シャチャョーの坂東正明さんが立ち上げたブランド。

当時はオリドのシルビアN2やS14でのGT300参戦などにあわせ日産車用がメイン。その後は休眠ブランド。が、坂東マサによって復活! ネーミングも「シーラゾーンGTスベック」に変更。

マサといえばトヨタなので、新しいシーラゾーンのスタートはトヨタ車、しかもSW20である。

市販車とは形状がまったく違うが、マサがスーパーGTで走らせているレクサスS350もミッドシップ。このレイアウトはダンパーや車高などの選択によってまったくフィーリングの違うクルマ

●タイヤ銘柄によってセットアップを決めていく。そこまでタイヤにこだわるので、当然空室庄チェックもシビアに行いたい。



になっってしまう。それだけにミッドシップのSW20は足まわりが難しい……だからやってみなかったということ。

さてそのシーラゾーンGTスベック、マサがとくに意識したのが履いているタイヤとのマッチング。サスセッティングにタイヤの特性は大きな影響があるので、シーラゾーンGTスベックでは、オーダー時にタイヤ銘柄を指定するという方法を取る。

つまりタイヤ性能を引き出すためのセットアップを行うという意味。一般的にいい足と言われている





# 旧型車から現行モデルまで乗り味はドンドン進化する クルマが変わるSUSキット

個性派ユーザー対応編

●エンジンもターボならけっころうハイパワーに持っていくこともできる。そうなるよりリアのトラクションはますます重要になる。



●SW20はいまだに、というか最近また人気が出てきたクルマ。ただミッドシップレイアウトゆえにサスペンションが難しい。



●このクルマはストリートでの乗り心地のよさを重視してほしいというオーダーだったのでスプリングはソフトめのレートを使う。



●フロントが軽いSW20はショックの性能だけでなく、アライメントや各部ブッシュのリフレッシュも重要になってくる。



●製作はD1グランプリのシード勢に人気のDG-5が受け持つ。詳細設定を坂東マサがおこなうのだ。価格は29万8000円。



●タイヤにしっかり仕事をさせるためのサスキットなので、フロント同様、リアもアライメントなどしっかりとやっておくこと。



●フロントの接地感が薄いのは特性上、仕方がないこと。軽量化のためスペアタイヤを降ろす人もいるが積んでおいたほうがいい。



●ストロークの取れない形状でも安定した減衰力特性をキープするためにダンパーは倒立タイプで後の大きなストロークを使う。



●リアショックの下にはドライブシャフトが通っているため、ショックのストロークが稼ぎにくい。車高を下げればなおさらだ。



●ロアシート部にスプリングシートも装着。これがあると伸縮時に発生するスプリングの動きが抵抗や音にならないというモノ。

るモノでも、使うタイヤによっては印象が大きく違うこともある。だからタイヤにこだわるのだ。このSW20用はすでにユーザーに引き渡されたものだけど、SW20はショック長も短いのでストロークが取れないクルマでもあった。でも、オーナーの希望はスポーティながら乗り心地のよさを確保、

というモノ。そこでショックのピストンは45に設定。ストローク変化量が少なくても減衰が出せるような基本形を作る。この大径ピストンを使うとサーキット走行でも減衰力の安定性を高いレベルで保つことも可能なので、スプリングを組み替えればサ

ーキット走行でも満足できる余力は持っている。もちろんオーナーも満足してくれた。最近ハマリなマニアックなサスキットも増えているが、GT300クラスのスリルズチャンピオンチーム監督とのディスカッションで作る「タイヤに合わせた仕様」……これはけっころう究極でしょう。

## ハチロクユーザーに朗報 ファイナル5.375発売!

チューンドハチロク乗りに定番だったギヤ比チューンがTRDの5.375というファイナルギヤを使うこと。TRD 5速クロスとこのギヤの組み合わせはよくありました。ところがこれですでに廃盤になっているので新品では手に入らなかった。ゆえにネットオークションでも中古が高値で取り引きされていた。そこで坂東商会がこのギヤを数量限定で復活させてくれた。数量は25台分。価格はセットで13万8000円となっている。TRD製と同等のクオリティなので耐久性はまるで問題なし。まだまだ現役が続きそうなハチロクだけに、今は必要ないという人もこの先のことを考えて……新品を買う機会はあるかわからないだけにキープしておいてもいいかも。



●純正ギヤと同等のクオリティで作られているので余計な心配は無用。欲しい人にはたまらないパーツゆえにまとめ買いあるか?

